

伊豆山復興まちづくりワークショップ

発行：令和4年6月

◆伊豆山復興まちづくりワークショップを開催しました！

令和4年5月29日（日）13時30分から16時30分まで、熱海市役所第1庁舎4階第1会議室にて、新型コロナウイルス感染予防対策を実施したうえで、第1回伊豆山復興まちづくりワークショップを開催しました。

当日は、25名が参加され、ワークショップの目的と進め方をご理解いただいたうえで、伊豆山の復旧・復興に向けて、今後どんなことを話し合っていかなければいけないか、グループごとに活発な意見交換をしていただきました。

日時：令和4年5月29日（日）13:30～16:30
場所：熱海市役所第1庁舎4階 第1会議室
参加者：25名



◆主な意見交換内容

1. 第1回 「ワークショップの目的を理解しよう」

第1回のワークショップでは、2つのテーマ（①復興のための計画を聞いてどう思ったか、②これからのワークショップで何を話し合いたいか）について意見交換しました。

各グループで共通していた意見や主な意見は以下の通りです。

テーマ1：復興のための計画を聞いてどう思ったか

- まずは被災前の静かな暮らしに戻りたい。
- 被災前の状態には戻らないかもしれないが、未来につながる子どもたちや新しく住む人のことを考えた復興にしたい。
- 防災意識は地震のことしか考えられていなかった。土石流などほかの災害にも備えた新しい防災（事前復興）をつくりたい。
- 安全な避難場所・避難路についても考える必要があると思う。
- 工事範囲、時期など戻れる判断材料を提供してほしい。



テーマ2：これからのワークショップで何を話し合いたいか

- 戻ったあとに安心して暮らせるよう、すぐに、安全に逃げられる生活道路・避難路、避難施設の整備について話し合いたい。
- 若い世代、子育て世代が伊豆山に移住・定住するためのまちづくり、コミュニティづくりについて話し合いたい。
- 高齢者の生活に寄り添った（買い物や坂道でも移動や避難がしやすい等）環境整備について話し合いたい。
- 次の災害に備えた防災体制について話し合いたい。



◆お問合せ◆ 熱海市役所 経営企画部 企画財政課 復興推進室

〒413-8550 静岡県熱海市中央町 1-1

TEL 0557-86-6213/FAX 0557-86-6152

メールアドレス (fksuishin@city.atami.shizuoka.jp) まで

2. ワークショップで交わされた参加者からの主な意見

Aグループ

若い人・高齢者が今後住むためには

- ・安全が確保されたとして、働き方が多様化している中では熱海・伊豆山の魅力で人を呼び込むチャンス。
- ・食料品を買えるスーパーがほしい、バスの利便性が低いのを改善してほしい。

Bグループ

道路や避難方法・避難場所について

- ・避難しやすい道路、防災に強い広域的な道路が必要。
- ・熱海駅へのアクセスも良くしてほしい。
- ・高齢者が買い物に行けるように移動販売の実施も一つの案。

Cグループ

安全・安心な地域づくりについて

- ・道が狭く、緊急車両も入れない。
- ・安全な通学路や災害時の避難動線や避難に支援が必要な方についても考えるべき。
- ・歩いていける範囲に必要な機能は何か。

Dグループ

暮らしやすい生活環境・街並み

- ・災害に強いまち＝多くの住民に戻ってきてもらえるのではないかと。
- ・狭い道、坂道が多いが、高齢者が生活しやすいまちにしていく必要がある。
- ・道路に命名（頼朝ロード、政子ライン）。

Eグループ

復旧・復興後の生活について

- ・帰れるかどうかの判断材料が欲しい（工事期間がいつまでなのか、など）。
- ・復旧（ゼロ）の状態になっていないので、復興（ゼロ+ α ）イメージがわきにくい。
- ・幸せに暮らし続けるために何が必要か。



3. ふりかえり：ワークショップの後、みなさんからたくさんのご意見を頂きました！！

○：参加して感じたこと

●被災者との再会、想いの再確認

- ・久しぶりに会って、元気そうな姿を見られたのはよかった。
- ・伊豆山全体で情報を共有することが重要。
- ・住んでいる地域が違うことで、出てくる意見も違うことに気を付けたい。
- ・被災者の心の傷はまだ深いと感じた。

□：これからも話し合いたいこと

●まちづくりについて

- ・市からの道路、河川計画の説明が欲しい。
- ・災害に強いまちにするためにはどうしたらいいか考えたい。
- ・道路や川の整備により住めなくなるのではなく、住民が戻れるまちづくりをしたい。
- ・復興後のまちづくりの話もしたい。

?：質問や今後の進め方などに対するご意見

●情報共有・相談の場の提供

- ・地域や市との連携不足を改善したい。
- ・もっと被災者が自由に相談や意見を言える場をつくってほしい。

●復興計画・今後の進め方

- ・計画書への反映部分を明記してほしい。
- ・WS前までの決定事項は提供してほしい。
- ・テーマを絞っていくと色々アイデアがでる可能性もあると思う。

☆：その他ご自由にご記入下さい

- ・今日の結果がどのように復興まちづくり計画に反映されるのか。
- ・被災者に寄り添った復興にしたい。状況は違うが、伊豆山への思いはみんな一緒。
- ・地震しか考えていなかった、土石流のこと含めて新しい防災についても考えたい。
- ・これからの伊豆山のことをよく考えないといけないと感じた。

第2回ワークショップの予定 ぜひご参加ください！

日時：令和4年6月26日（日）13:30～16:30

場所：熱海市役所第1庁舎4階 第1会議室

テーマ：「これまでの伊豆山地区を振り返ろう（仮）」

対象：警戒区域内にお住まいだった方（避難されている方）または伊豆山浜・仲道・岸谷地区にお住まいの方

第2回ワークショップから参加をご希望の方は、令和4年6月22日（水）までに、①～③いずれかの方法にて、【氏名・お住まい・電話番号】をご連絡ください。（第1回ワークショップ申込済の方は申込不要です。）

①電話 0557-86-6213 ②FAX 0557-86-6152 ③メール fksuishin@city.atami.shizuoka.jp

なお、新型コロナウイルス感染予防対策のため、参加者数に上限を設けています。事前にお申込のうえ、ご参加いただきますようご理解・ご協力をお願いします。（上限になりましたら、申込締切とさせていただきます。）